（十七日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料 雜報欄行五十錢 場所指定二十錢増
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

白井翁追憶談（上）

……明治初年磐城の政狀……

高岡唯一郎 中野浩忠 兩氏の談

白井遠平翁の長逝に當り高岡唯一郎、中野浩忠の兩氏は滿面に憂愁の色をたゝへて交々語る『明治の初年磐城の天地に傑出せるものに實業家では西牧喜人、學者に神林復所、大塚、室の諸氏があつたが實業と政治兩領に亘つて國家的に重きをなしたのは白井遠平翁だど一人である、翁は幼少の頭より才氣に富み亦た極めて敬老の心に篤かつた、僅かに二三歳の項田市に稼ぐ人や、牛馬を引いて往く名もなき幼老男女の何人を問はず必ず叮嚀に挨拶をなし子供同志の喧嘩等を見れば必ず弱者に味方して援けたと謂ふ以て翁の全人を窺知する事が出來得るであろう

明治十二年頃四倉に區會所が出來た時翁は若干にして副區長に推擧され十四年之れ等の區を擴張し平町に區會が出來るや區長に擧げられて縱横の才腕を揮つた。之れぞも〳〵翁が社會的に政治的に第一歩を刻した最初である、明治十四年九月頃であつたか自由黨の鼻祖板垣伯が大隈侯の改進黨と抗爭し石城の地に立つて『大目由黨の主義を直說』大いに自由民權の伸長を呼むだとき翁は敢然起つて板垣伯の傘下に參じ大いに民心を誘導する所があつた。當時翁の麾下には柏原佐源太、佐藤甚左エ門、酒井與右エ門、佐藤長三郎、本田直次郎、矢吹長左エ門、横山忠兵衛、山崎惣平、馬目清吉、草野隆造、鯨岡德次郎、藤井禮治、箱崎清三、吉田与右エ門の諸氏があり其の他郡下の戶長、名望家等を配し一意自由民權の伸長に奔走された、當時民衆の政治的常識は極めて遲どんにして徒らに偏見の外に暴力あるのみ濟度し難かりしを翁は身命を堵して此の大體に處して邁進したのである。（つゞく）

明日の吉凶 舊暦九月二十三日 新暦十月十八日

▲一白 名利共に擧がる日思ひ切つた事を企て過ちなし▲二黑 浮き腰にして物に實入らず動きは愼むべし▲三碧 進跡を誤り深みに落ち込み易き日家內安全▲四綠 次第 吉に向へども金談は成るべく避くべし▲五黃 氣に緩みを生ずるときは意外の失敗ある日▲六白 鬱氣に閉ざされ晴々とせざる日旅行移轉凶▲七赤 折り返す波を渡る如し一瞬の油斷もならず▲八白 物議を生じ易し口入れ事は成るべく避くべし▲九紫 內の小事を後に外の大小を處理して吉き日

講談

（163） 高橋掬太郎創作 布施平八郎揮毫

忠太郎の生立

忠太郎は父忠兵エから形見として三條小鍛冶宗近の一刀を與へられ母の千代に伴れて立ち去り姿を隠したのであつた。

千代は夫の樣子を知りたいと思つたが附近にまご〳〵してゐることは危險であつた、忠兵エが首尾よく昌康を打ち取つたにしろ討ち損じたにしろ忠兵工の命はなきものと思はねばならず、妻子の上に追手のかゝるのは必定であつたから一刻も早く遠く他領に逃れて姿を隠さねばならなかつた、けれども何處へ逃れて行くにしても定めてなかつた又幾分の蓄への金は用意してゐたが、これから十數年忠太郎の一人前に成長するまでには足りるものではない、せいぜい一年か二年も暮せば無一文にならねばならないので金のあるうちに生活の道を講ずる必要があつた。

さうした苦勞に心を痛めながらた千代は忠太郎を伴つてやうやく隣國へ逃れたうまい具合に追手の眼に觸れなかつたが人の噂に忠兵工が昌康を討ち損んじて斬死したと聞いた時は覺悟はしてゐながらも母子は心も狂ふばかりに悲しんだ。どうせ命はなきものにしろ、昌康を討ち取つて目的を遂げた上に死ぬのなら諦らめがつくけれども目的を遂げず憾みを吞んで死んで行つたかと思ふとたゞ千代は悲しかつた、口惜しかつた忠太郎も子供ながら父の無念を思ひやつて深く嘆き悲しんだ。

この上は夫に誓つた通り忠太郎を立派に成人させ天晴の勇士にして夫の志を繼せ昌康を滅し本間家の安泰を圖らねばならぬと千代は固く決心した。

忠太郎にもよく云ふて聞かせた

それにしても定でない旅何處へ行つて身を落ち着けようかと思ふと或村の庄の家に一夜の宿を借りたことがあつた

その夜近村を荒し廻る盜賊の群れが此の庄家の家を襲ふた、賊は約十名程であつたが白刃を拔いて家人を威かし一同を縛り上げてしまつた。

た千代は忠太郎とはなれ座敷の一室に寢かさせてゐたが只ならぬ物音に眼を覺まし、起き上らうとするところへどや〳〵と賊が入つて來た、た千代は夜具を刎てとび起き、寢卷のまゝながら夫が忠太郎に與へた宗近の一刀を拔いて賊を渡り合ひ四五名の者を斬つて捨て殘る者を取つて押へた流石に女ながらも神部淸左工門の妹、石出忠兵エの妻だけある。働きで庄家一家は命の親と恩を謝した。

それが緣でた千代と忠太郎はの庄家の家の世話になり、た千代は村の子等を集めて、手習ひを敎へて世話するようになつた

そして忠太郎に對して一生懸命に自分の及ぶだけの武術を敎へたが、庄家はなか〳〵義俠心の強い男でた千代が忠太郎を立派な武士にしようと云ふのを見て此の村を通る歲武を泊めては忠太郎に武術を敎へて貰つて吳れた、傑れた武藝者が來ると一ケ月でも二ケ月でも逗留させて、忠太郎が及ぶ迄仕込んだ

忠太郎は父の無念が胸に銘じてゐるだけに武術にかけて食を忘れる達熱心でめき〳〵上達した、武術の稽古の暇には附近の山野を驅け廻つて身体を鍛えた。だから彼は年は若いが鬼をも引き組むやうな豪勇になり二十歲の齡を聞く頃は此の村を通る者で一人として忠太郎に及ぶ者はなかつた

創業三十周年紀念賣出し中
御後援を賜り候御禮として
特賣
トンカツレツ
メンチカツレツ
ライスカレー 各十五錢
其他相應じて格安
松茸フライ 一品三十錢
十月一日ヨリ相始申候
洋式宴會仕出し
平町田町
一の井
電話一六七番

金牌一等賞數回受領
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番
◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
平南町 松村病院 電話七〇一

鐵筋コンクリート
鐵骨組立
和洋建築
文化式建築
設計監督
土木、建築、請負業
合資會社
丸三森川組
社長 大森鎭平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二番

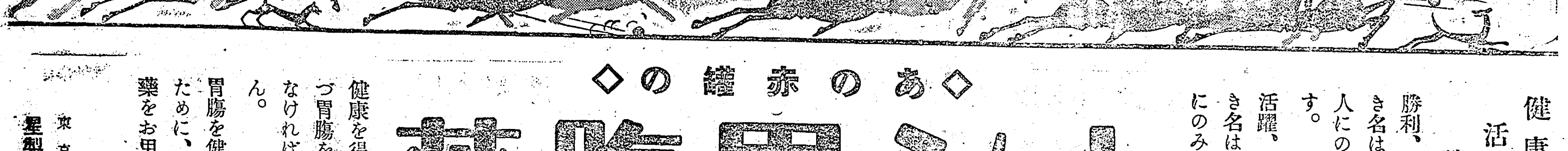
片濱自動車運轉
平、高久、豐間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二一七番
電話…一四二番
御三人以上はお迎ひに參上致します
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木
片濱自動車商會

懇切迅速勉强は
弊店のモットーであります
磐城銀行御指定
ケーテー洋服店
平町材木町
高野幸一

診察無料
如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい
院長博士 敬白
大谷時計病院
電話一九番

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
電話浪花三五一番
振替東京三二四〇番
小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番



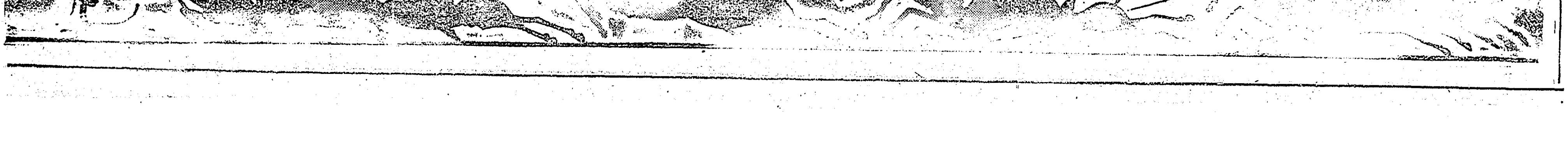
◇あの赤い罐の◇
ホシ胃腸藥

健康
活躍
勝利

勝利、その輝かしき名は、活躍する人にのみ許されます。
活躍。その勇ましき名は健康なる人にのみ許されます。

健康を得るには先づ胃腸を健全にしなければなりません。
胃腸を健全にするために、ホシ胃腸藥をお用ひなさい。

東京大崎
星製藥株式會社



磐城炭礦の爭議事件 暴行者の控訴公判

全く行爲は覺えがないと 被告悉く犯行否認

去る二月上旬、石城郡内郷村に於ける磐城炭礦爭議團として會社側の磐炭會と對抗して大亂鬪を演じ、暴力行爲並に傷害罪として平警に檢擧され平區

裁判所の判決不服で去る三月中控訴した石城郡内郷村大字綴字御殿山葛西留五郎(四〇)外十八名にかかる控訴事件の公判は十五日午前十一時半から福島地方裁判所刑公廷に於て椎川裁判長芦立檢事立會、日本坑夫組合本部書記長たる辯護士三輪壽壯氏出廷の上開廷したが被告十九名中△川合勇(三四)罰金七十圓△關塚倉吉(三五)同七十圓△廣瀬幸太郎(三〇)同五十圓△小原又太郎(三九)同九十圓の罰金刑　四名が缺席し十五名の被告は背廣や詰襟洋服、又は和服姿で五人宛三列にぞろりと法廷に立住所原籍、出生地、年齡、職業等々

訊問が始められたが何せ十五人の被告は前回取調の住所や原籍と大部分相違したりくどくどしい説明などが入つたりして、身元調に約四十分もかかつて正午一先づ休憩し午後一時から再會椎川裁判長は左の順序に控訴の理由を訊問した

△葛西留五郎(四〇)懲役四ヶ月△齋藤岩吉(三〇)罰金五十圓△竹山音代治(三四)懲役四ヶ月△高梨二男(三二)懲役十ヶ月△長谷川忠藏(三六)罰金七十圓△坪內又次郎(三〇)懲役四ヶ月△日本坑夫組合委員田中利勝(二四)懲役八ヶ月△加藤木誠一郎(三〇)罰金七十圓△佐藤養吉(三〇)懲役四ヶ月△菅野明守(三二)同四ヶ月△黒澤市之助(三三)同四ヶ月△關根喜四郎(二四)同四ヶ月△鈴木金吾(二七)罰金五十圓△池田平吉(三〇)同五十圓△佐原松雄(四二)同五十圓

右の十五名は何れも警察や檢事局又は第一審の判決の如き暴力行爲の犯罪

事實がない　から不服で控訴したとて「覺ねのない事だ」現場に行く事は行つたが關係した覺はない「全く現場には顏も出さぬ」等々の理由で無罪となるべき性質だとて極力事實を否認し裁判長は更に長谷川忠藏より詳細な訊問に移り午後三時半漸く一同の訊問を了へ辯論を延期して閉廷した

花に舞ふ小蝶の如く 磐女校運動會

朝來の雨模樣もはれて 觀衆一萬を數ふ

縣立磐城高等女學校の第十四回陸上運動競技大會は今十七日同校々庭に於て午前七時三十分から開會された、會長校長代理中川教頭の開會の辭、唱歌運動會を合唱競技にはいつたが朝から曇り勝ちだつた天候は八時頃より持ちなほし進んで競技遊技小學生の白米競走、等五六回を數へて來賓、卒業生の競技もあり觀衆無慮一萬餘非常な賑盛を極めたが競技種目左の如し

△午前ノ部

一〇〇メートル一ノ一、二　置換へ競爭四ノ一　四〇〇メートルリレーレース三ノ三、四　ドリブルボール二ノ一　一〇〇メートル二ノ三、四　ドリブルボール二ノ二　四〇〇メートルリレーレース一ノ三、四　バスケツトボール豫選代　セブンジャンプ一全　一〇〇メートル四二、三　縄跳ビリレー一ノ一　四〇〇メートルリレーレース二ノ一、二　キャトテンボール三ノ三　ヴアレーボール豫選代　一〇〇メートル三ノ一、二　置換、競爭四ノ二　四〇〇メートルリレーレース二ノ四、三　バスケツトボール豫選代　ユモレスク三全　小學校一〇〇メートル豫選　敏島ノ道　一ノ二　四〇〇メートルリレーレース三ノ一、二　五〇〇メートル代　ドツチボール三ノ四　一〇〇メートル四ノ一　メデシンボール一ノ四　女學校五〇メートル代　小學校四〇〇メートルリレーレース豫選　調律体操　全生　バスケツトボール決勝　小學校一〇〇メートル決勝　小學校一〇〇メートル決勝　ホ、ス、ジャンプ代　一〇〇メートル代　ボール送りリレー職員　胡蝶二、三、四

△午後之部

一〇〇メートル一ノ三、四　ドツチボール三ノ一　四〇〇メートルリレーレース四ノ一、二　ドリブルボール一ノ三　ヴオレーボール職員　置換へ競爭四ノ三　一〇〇メートル三ノ三、四　スローアンドキアツチリレー二ノ四　一〇〇メートル二ノ一、二　ベビーボルカ二全　四〇〇メートリリレーレース一ノ一、二　キヤプテンボール三ノ二　女學校一〇〇メートル代　四〇〇メートルリレーレース四ノ三　ヴオレーボール決勝代　四〇〇メートルリレーレース代　小學校四〇〇メートルリレーレース決勝　シヤテツジ四全　女學校四〇〇メートルリレーレース　來賓有志　大原女一ノ三　卒業生有志　合同体操全生

白井遠平翁傳記(二)

——私の秘藏書中から——

小野務平

△幼時

遠平翁は父の流浪時代に於て艱難の中に成長せしが栴檀二葉より香し幼にして早く既に俊勝天資の英才は自ら群童を壓し其の言動往々にして老成の人々を三舍を避けしむ依て人呼むで神童と云へり、稍々長するに及むで學門を好み、頭腦明晰記憶力強く一たび目睹耳聞せることは決して忘るゝ事となく、其の記憶し難き數字の如きも一々之を記憶し誤ることなく七歳にして佐藤德五郎に就き書を習ふ所謂寺小屋なり

翁十歳時常陸國多賀郡平潟の中根松霜塾に入り始めて士族輩と伍して漢字を修む、其の成績常に塾生の上位を占む松霜塾に止まること二年にして父幸助氏が白井家を承繼するに及び翁も亦た同塾を去り磐城平藩の儒者神林復所の門に學ぶ、當時士族の權勢強大にして翁は彼等ノ跋扈に苦しみたるも天資英邁なる翁は毅然として之に屈せず專心講學を勵み其の成績優秀にして斬然頭角を顯はせり

或時は詩經、若くして唐詩選の類を苦もなく諳誦し彼等の膽を奪ひたることあり、當時翁の才學藩中に嘖々たり、茲に於てか彼れ等士族輩は翁を嫉視すること甚だしく暴横至らざるなし然れども翁は少しも之れに屈服せす年長の輩に對しても遂に一歩も讓らざりしと雖も此の頃より胸中既に大志を抱ける翁は彼等鼠輩と伍するを潔とせす、十四歳にして神林の門を退きたり爾來翁も家政を助くるの傍ら常に研學に怠らす理財の智識は既に此の頃より著るしき發達を見たり

△藩公の非を責む

當時夏秋の候、平藩の士族等は翁の居村を流るゝ夏井川に來たり鰻釣をなすを例とす、而して彼等は其の餌を獲んが爲め田甫に上り來たり農作物を踩躪し或は畦畔を毀壞する等農業の妨害を爲すこと甚だし、然れども農民等が之れを詰むれば彼等反つて暴威を以て手打ちにも爲し兼ねまじき勢ひなをしを以て何時も彼等の爲すが儘に放任したるが小年の翁は大いに之を憤慨し或る時此の鰻釣りの一行に對し嚴しく其の非行を詰責し將來再ひせざることを要求したるに彼等は憤然として滿面怒氣を帶び何をか爲さんとするの勢を示したるも翁は少しも怖るる所なく諄々として其の非なる所以を説破したる爲め

流石不識の彼等も終に辟易し消然として立ち去り其の後再び上小川村の田甫に足跡を印せさるに至りしと云ふ、微々たる一青年能く高慢なる士族輩を屈服せしめたるを快とし翁の名聲近郷に嘖々たり、以て其の才力の非凡なりしを知るに足るべし

(つゞく)

一人一錢主義の 愛國貯金勸誘

多數人員を網羅し 平局鋭意募集

平郵便局では內務省社會局勤儉貯金獎勵會發案ノ愛國貯金勸誘に就き平町及管內町村役場と協力之が募集準備に取かゝつてゐるが其趣旨としては現在我國十四億七千八百萬圓の外債を償還せんとする財源の國債應募力の完備を充實せしむるもので五千九百萬人の國民が愛國貯金ノ決定に基き每日一錢宛を貯金し六ヶ年据置けば一人當りは二十五圓強で大なる額には達しないが約六千萬人が之を實行すれば前記外債償還の方法として政府が國債を募集する際之に應じられる巨額に達する譯で國民の貯蓄思想普及上にも極て意義ある計畫と見られ其徹底を期する筈であるが該愛國貯金は一人一日一錢といふ少額であると同時に其人員は極めて多數の人員を

網羅する　事となるので組合其他團体等集團的として局員が之れを集金に出る樣な簡便なる方法にされるものであると

白井家の 忌明けの宴

住吉屋本店に

白井遠平翁の葬儀は十五日空前絶後の盛儀が滯りなく終了したが忌明けの今十七日白井家では住吉屋本店に葬儀委員長安島重三郎氏外七拾餘名を招待し忌明けと葬儀に就いての慰勞の宴を張つた

ゆうべ夜中 平町の小火

裏の物置から

昨十六日夜十一時半頃平町三丁目二十一番地八百屋業小島藤左エ門の裏物置小屋から失火平消防自動車ポンプが出動し折からの活動歸りの人達で混雜大騷であつたが大事に至らず消し止めた同家では今度が二度目の出火でもあり目下平署ノ原因取調べ中であるが、同家の娘某が情夫の某と前記の物置小屋で密會し情夫某の棄した煙草ノ吸殼か、薬ノ火がついたのを氣付かず居たものらしく折柄活動歸りの人々で大混雜を呈した

紅葉の高月臺に 濱三郡少年野球

いはらき支局主催で 小高決勝に入る

いはらき新聞平支局主催第七回濱三郡少年野球大會は既報の如く今十七日午前九時から高月臺磐中グランドに於いて前年度の優勝校高等科內郷校、尋常科平校の選手を先頭に華々しく選手の入場式あり午前九時廿分尋常科神谷校對小高校戰を劈頭に大會の幕は切つて落された此の日朝來から薄雲天を蔽つて時々小雨を降らし天候頗る氣つかはれる尋常科神谷小高の兩校選手は萬場の拍手に迭られて出場神谷先攻で唐士會長の始球式に依つて第一球は投せられた二回まで兩軍得點なく緊張したが三回に入るや大破亂起り小高軍の猛襲に一擧六點を入れ大勢既に決し四回戰に入るやまた〳〵七點をまして十三對零のコールドゲームを以つて遠征の小高軍は決勝戰に出場する資格を得た　(正午記)

石城地方 新米賣急ぎ

先高見越作ら 必要に迫られ

政府の新米調節による先高見越しや昨今の天候不良で石城地方の新米出廻りは捗々しないが農家の手許には相當の新米が手持してあり天候さへ回復せば一時に出殺されるものと見られてゐる、殊に政府の買米は聲明のみで實施までには相當期間もあり且一般農家はすでに決濟すべき肥料代やその他の借入金のため遲から早かれ金に換へねばならぬ必要上賣急がれるのは當然で同地方の財界は多少活氣が呈してゐる

きのう盛大に 上水道竣工式

平劇場と谷口樓に 知事代理以下出席

平町上水道竣工式は十六日午前十一時より八幡配水池に於て擧行された來賓は知事代理山川學務官佐藤政友會支部幹事長縣會議員鈴木辰三郎氏外地方有志三百餘名で定刻佐藤助役擧式の辭次で竣工祭の儀あり町長式辭、香野水道課長の工事報告、知事の式辭(山川學務官代讀)鈴木縣議外數氏の祝辭あり閉式し午後一時より一同平劇場に於ける祝賀會に臨み午後三時より谷口樓に特別演會に移り六時閉會したが非常な盛會であつた

大同通信祝賀

創業三週年の

石城郡植田町出身大同通信社長川村源市氏は創業三週年着々發展を見基礎も定まり殊に海歸來の本河合洋行の商業も引受業務を擴張し奮闘しつゝあり、去る十五日は多數の得意及各新聞通信社等を歌舞披座に招待し祝賀會を催したが多數の來賓あり、頗る盛會を呈した

專修生徒募集

石城郡植田町菊多實科專修學校は今春開校以來相當の成績を擧げてゐるが今回東京女子專門學校出身ノ裁縫專任教諭を招聘し裁縫專修科生徒募集を行ひつゝあるが、授業料は一ヶ月金一圓五十錢希望者は至急同校に申し込むべしと

廣告

御料理 鰻蒲燒 仕出し
魚榮
平 館隣り
電話四〇三番
電話四二四番

くすりの御用は
五丁目角の
山野邊藥店へ

平町南町
大和田病院
電話一七〇番

平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

十月十五日ヨリ廿五日迄
冬衣大賣出し
新館陳列營業大擴張‖商品豐富
御祝儀物一式江戸褄京染金二拾圓ヨリ
本秋の新柄モスリン着尺階上陳列仕候
間是非御來觀の程希上候
たつさめ特價品
ニコ〳〵大島 壹圓　別珍足袋 二十五錢(一萬足限り)
三井別染 紬縞 壹圓五拾錢
布團縞 七拾五錢　白キャラコ 二十錢(五千足限り)
本かへき羽織裏 壹圓六拾錢　黒朱子 三十五錢
着尺モスリン 參圓八拾錢(五千足限り)
外に破格品山の如し
平町三丁目
三井呉服店
電話三八番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋
(久)釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

齒科口腔一般
診療時間(午前七時ヨリ午後八時マデ)
但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
齒科醫 鈴木五郎

外科專門
入院隨意(自炊の便あり)
平南町
上田外科醫院
電話一二九